

6 潮田東部地区



1. 第4期計画策定（令和3年度～7年度）



声かけて 心がつながる 潮田東部

みんなで

支えあおう
声をかけよう
輪をつくろう
手をつなごう
挨拶をしよう

高齢者、子ども、子育てをしている親、介護者、障害のある方、外国籍の方など、様々な世代、様々な環境にある方が地域でつながり、支えあうことを大切にします。

地域で何が課題になっていて、住民が何を望んでいるか、住民の『声』をもとに取り組んでいくことを目指します。

目標1 地域みんなで支えあい

①災害に備えた地域ごとのしくみづくりを進めます。

（要援護者支援など）

②支援者間での情報共有を進めます。

（支え合いマップの活用や、地域と行政等の関係機関との情報交換など）



<支え合いのマップ作成>

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

目標2 地域の中での見守り活動

①高齢者に限らず、見守り活動を推進します。

身近な範囲で顔なじみの人で見守りができるように働きかけます。

②様々な世代、様々な環境にある方への理解・啓発に取り組みます。



<仲ニポスター(見守りポスター)>

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

目標3 地域で楽しく健康づくり

①4公園の元気づくりステーションを充実させます。

②既存の活動（ウォーキングや体操等）

のPRを強化します。

③活動を通じ、多世代交流、趣味・特技を活かした健康づくりに取り組みます。



<元気づくりステーション>

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

2. これまでの取組について

<第3期計画の主な取組内容（平成28年度～令和2年度）>

声かけて 心がつながる 潮田東部

目標1 地域みんなで支えあい

目標2 地域の中での見守り活動

目標3 スポーツを活用した健康づくり

○5年間の活動の振り返り（年度ごとまたは、テーマ毎にまとめる。）

第1、2期の取組みを継続

【緊急連絡簿】要支援者の緊急時の連絡先（家族等）を把握する

【見守りステッカー】地域での見守りを啓発する

第3期より新しく開始

【支え合いマップ】見守り活動の一助としてご近所の状況を把握・共有する

【元気づくりステーション】地区内4公園で実施。健康づくり、介護予防

の活動を通じ地域全体が元気になる

第3期では、第1・2期から行ってきた取組みを継続しつつ、取組みの幅を広げて実施できた。

○活動を通してみえてきたこと

- ・緊急連絡簿では、町内会での回収率に差がある。地区全体として取組みを強化していく。
- ・活動を行う担い手が不足している。活動への理解者をまずは増やしていく。
- ・町内会での役員交替で、今までの取組み・活動が引き継がれていないことがある。町内会によって一体的な取組みができるようフォロー体制を整えていく。



<見守りステッカー>



<元気づくりステーション>

<第4期計画策定に向けて>

○地区懇談会（潮田東部地区フォーラム）での意見

- ・近所で日頃から声掛けをしていくようにすることが大切。
- ・支え合いマップ等で情報共有することも大切。マップは地域のことを考える機会となり有効だと思う。
- ・災害に備え、具体的な見守りの仕組みづくりを進める必要がある。
- ・第1期からの取組みを継続・充実させることが大切。
- ・取組みの理解者を増やしていくことで活動が地域に浸透していく。



<潮田神社社務所にて意見交換>

○地区懇談会の結果を踏まえて、地域での話し合い

- ・高齢者に限らず、様々な世代、環境にある方が地域で支え合う環境づくりが大切。
- ・災害に備え、要支援者支援など具体的な仕組みを構築する必要がある。
- ・作成した支え合いマップの活用や、地域と関係機関との情報交換など支援者間での情報共有の取組みが重要だと思う。
- ・元気づくりステーション等の活動を地域で気軽に参加できる健康づくりや交流の場として浸透させていくことが大切だと思う。



<計画策定に向けた話し合い>